

令和3年度第1回函館方面江差警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和3年7月15日（木） 午後1時00分から午後2時15分まで

2 開催場所

函館方面江差警察署 大会議室

3 出席者

- (1) 協議会委員 6人（定員6人）
- | | |
|-----|--------|
| 会長 | 小笠原 隆 |
| 副会長 | 田原 栄輝 |
| 委員 | 太田 豊子 |
| 委員 | 庄山 江利子 |
| 委員 | 松崎 真由美 |
| 委員 | 平木 悟 |
- (2) 警察署員 5人
- | | |
|-----------|-------|
| 署長 | 武田 直人 |
| 副署長兼警務課長 | 佐藤 直哉 |
| 刑事・生活安全課長 | 木村 公哉 |
| 地域課長 | 齋藤 明 |
| 交通課長 | 上野 貴弘 |
| 警務係長 | |

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 江差警察署の業務推進状況

- (1) 犯罪発生・検挙状況
- (2) 交通事故の発生状況
- (3) 江差警察署の活動状況

7 諮問事項「高齢者の交通事故防止に向けた取組」

- (1) 諮問事項の説明
- ア 当署管内の交通事故実態
 - イ 交通指導取締りの方針
 - ウ 交通安全啓発の取組
 - エ 高齢者の事故防止に向けた取組

(2) 委員からの要望・意見（答申）

委員～最近、島外からの訪れた者の交通量が増えている。
また、奥尻町は道路が狭く、高齢者が道路の真ん中を走る傾向があるため、すれ違う度に危険だと感じることがある。

署説明～奥尻島においても昨年死亡交通事故が発生しており、引き続き、交通事故防止に向けて取り組んでまいりたい。

委員～上ノ国町のラウンドアバウトは、中央部の盛り土がなくなり、見通しが良くなったという声がある。

署説明～盛り土については、道路管理者において先月撤去されたと認識している。

委員～高齢者の特徴として、車道を歩いたり、歩道を自転車で走行する高齢者が多

いと感じることもある。高齢者が車道を歩くのは、おそらく歩道に凹凸があつて歩きづらいなどの理由があると思われる。警察として何か対策はとれないか。

署説明～道路形状に関しては、一義的には道路管理者において対応することとなるが、警察でも、先般、他県において児童の列に飲酒運転車両が突っ込み死傷者が出るなどの痛ましい事故が発生したことを受け、今後、通学路対策として横断歩道や一時停止を新設する予定である。

地域住民からの要望・意見については、関係機関や道路管理者等と連携し対応してまいりたい。

委員～私が暮らす街は農業が基幹産業であるが、70歳代～80歳代でも現役で農家として働いているため、免許返納が難しい実情がある。

家族としては、免許証を返納して欲しい、運転しないで欲しいと思っても、本人が聞き入れないということも聞き及んでいる。

署説明～本人の生活もあるため難しい問題であるが、各自治体によっては、免許証の自主返納者がタクシーやバスに無料で乗車できるなどの施策を実施しており、こうした施策を推進することで、自主返納につながるということも考えられる。

この点については、今後警察署でも何かできることはないか検討してまいりたい。

委員～乙部町では、先日国道で土砂崩れが発生し、国道が通行止めとなったため、迂回路を設けている。

迂回路を通ると時間がかかるため、スピードを出す車も多く、また迂回路の交通量が増えたことにより住民は不安を感じている。何か対策はとれないか。

署説明～委員のご指摘のとおり、乙部町の住民の方から迂回路に関する不安の声が当署にも届いており、自治体や道路管理者と連携して各種対策を講じているほか、パトロールの強化などにより不安の解消に努めているところである。

迂回路の運用は長期化が見込まれるため、引き続き、自治体や道路管理者と連携し、各種対策を推進するとともに、今後は、冬の対策が必要となるため、継続して検討してまいりたい。

8 その他の要望・意見

(1) 特殊詐欺対策に関する意見

委員～特殊詐欺の被害防止に関し、これまで警察と協力して啓発活動等を実施してきたが、より一層、啓発活動に協力したいと考えており検討願いたい。

署説明～特殊詐欺の被害防止対策は急務であり、協力をいただけるのは大変ありがたい。今後、関係課・係において啓発内容等について検討を実施するので、ご協力願いたい。

9 次回の開催予定

10月～11月中を予定